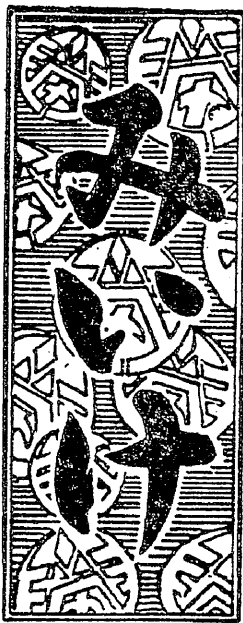


春斗で石炭政策をハネ返す



発行所
三池炭鉱労組
大牟田市不知火町2
電話 3033 番
8100
編集人 山下 開
発行所

学問に坦々たる大
道はない!!
中途で放棄する人
間になが出来る
か!!

組合員の交流・連帯を深め 統一斗争を組む

炭労第47回
臨時大会
統一斗争を組む

昨年二月六日に出席した石炭政策の中間答申は、具体的作業の段階に入り、六月には総仕上げが行われるという。いわゆる「第三次合理化の政府版」に、炭労としてどのように対決してゆかかという問題を中心として、去る一月二八・二九日の両日、臨時大会を開催して意志統一を行った。

石炭政策の背景の認識

大会はまず、石炭政策の背景についての討論を行った。

『現在の石炭政策の中心は、政府独占が「石炭私企業をあくまで守る。③国民の血税で長期負債、いわゆる一、二〇〇億円の肩替りする。④一、二〇〇億円の肩替り」といかに、徹底的な合理化計画の提出と実行をせよ。④労資協力という名の労働基本権の抑圧を考えている」ことを明らかにし、総合的にみて、体制的合理化である、という点で意見の一致を見た。

どのように立ちまわろうか

政府が「国民の犠牲によって石炭私企業を守る」という石炭政策は、社会的にも重大問題である。私たちはこのことをひるがへず訴えることにより、客観的条件は有利になるが現状では主観的条件が十分である。そのため主観的条件を高め、石炭政策に対決する「闘争姿勢」をいかに当面の急務であることを意志統一した。

主体性を高めるために

青年婦人の立場からの反合理化斗争

大会の議論は、いかにして主体性を高めるか、に議論が集中された。その主な意見は、①保安確保、長時間労働禁止、一時間休憩の三指標をどのように実行するか。それと山元にはいろいろな悩みがあると思うがこれを克服するには組合員相互

の交流、連帯を深めることが必要である。②大衆路線の徹底と活動家をどうつくるか。いま一番重要ではないか。そのために学習活動や三池の五人組活動などを学ぶべき

主張 青婦部は何をなすべきか 〈青婦部活動への問題提起〉

一月十七日青婦部中央役員会での、三池労組から、青婦部活動について、の問題提起が、次のように行なわれた。

青年婦人部をなぜつくるか

労組組合運動の中に青婦部組織を作るのはなぜか。われわれはまずその意義をはっきり認識すべきである。青年には一般労働者と違う特別の条件、特徴が社会的にも運動の中にもある。この青年の特殊性を基調として問題提起がなされ活動がなされないと、青年部活動がいきなりしたものにならないし、組合の下づけ活動になる。

青年婦人の立場からの反合理化斗争

反体制組織の強化

きではないか。③現在より労働条件を絶対下けないという面を注意をし、さらに確立された諸権利・諸条件を一つ一つをかきとるための復元斗争に地道に取り組むべきではないか。④統一斗争を組む場合、機械的ではなく実態に即した統一斗争を、しかもくすねないような斗争を組むべきである。とくに管理下炭鉱の組合の戦術は十分考えてもらいたい。

⑤そのほか体制的な合理化であるかぎり長期抵抗の構えが必要である。⑥次期三月大会までを準備期間として中斗も長期には、つつけろぐ、を行つていくことが確認された。なお、石炭政策の有力行使権の中斗委議院についての無記名投票が行われ、代議員全員の賛成で決定がなされた。

青年婦人部は一月二六日、一七日の二日間をとり、第一四回中央役員会を開き、秋斗年末斗争の総括を行ない、春斗への取り組みと当面の活動方針について討議した。

中央役員会では、具体的に総括を行ない、さらに支部、班段階に下ろして討議が深められている。積極的行動で春斗を闘い抜こう

秋斗年末斗争の総括を基礎に、当面の春斗を柱とする活動の中心を次の三点に集約した。①秋斗年末斗争の総括を基にして班組織の確立・強化を、②日常活動の中で、対外的には交流を、内部的には第二組合対策の強化を、③積極的に春斗にのり組み「春斗勝利の九州拠点行動」「春斗討論集会」の成功を、CO特別立法化を、

をもつて、三池では当面の活動として、青年婦人の運動を通じて第二組合員・組夫を労働者階級として立ちあげ、また炭労ひいては全労働者に斗争姿勢をつくる運動をねがなければなりません。地域組織への問題意識

また地域組織の強化についても同じことがいえる。地域における合理化攻撃は一般市民との共闘の場ができることであり、たとえば平和の問題、地域住民の要求などの闘いを一発主義に終らせてはならない。その活動のなかで青年婦人の役割はなんであるかが論議された。

真の大衆斗争路線とする。しかし、現在の青婦部活動はまだまだ幹部斗争になっていないか反省する必要がある。真に大衆斗争

者なみにするため、月額一万円(月額四〇〇〇円)の要求をした。二、退却手当要求も鉄鋼なみにとるためには、現行協定を三三増額を要求したい。三、じん肺協定の要求は、同じ地下産業である全鉱山に引き上げる要求をしたい。

以上を大衆討議のうえ三月大会で決定することになった。その他 一、石炭政策に対決しCO立法の制定、連帯会の結成、春斗など



のかという人間として重大な問題に悩まされている。炭労でも一月二八・二九日の臨時大会で、政府の石炭政策に対決する闘いを中心に、CO特別立法化を闘いすることを決定した。われわれは、職場における命を守る闘いとともに、今春斗の中でCO特別立法化の闘いを全国に広げ、勝ちとらねばならない。

三池にまなぶ会のみなさん 交流・激励ありがとう 反合理化の炎を あらゆる職場に広げよう